株式会社ナカダイ

モノ:ファクトリーの
取扱説明書

モノ:ファクトリー

目次

初めてご来場頂く前に

- ナカダイの仕事を知ろう
- 「リマーケティング」を知ろう
  - リユース
  - モノ:ファクトリー
  - マテリアルリサイクル
  - サーマルリサイクル
  - 焼却
  - 埋立

前橋支店／工場（廃棄物中間処理工場）

- 作業説明
  - 搬入
  - 選別
  - 解体
  - 圧縮
  - 破砕
- 前橋支店／工場でできること
  - 工場見学
  - マテリアルライブラリー
  - ワークショップ
- 場内地図

品川ショールーム

- 品川ショールームでできること
  - マテリアルライブラリー
  - ワークショップ

よくある質問

初めて
ご来場いただく前に

ナカダイの仕事を知ろう

廃棄物とは、誰かにとって「不要」と判断されたもののこと。ナカダイでは、特に事業活動に伴って排出される「産業廃棄物」を取り扱っています。

ナカダイに搬入する廃棄物は、誰かにとっては不要ですが、別の誰かにとっては必要なモノかもしれません。廃棄物の次の使い方を創造し、そのための捨て方をデザインする、それがナカダイの仕事です。

「リマーケティング」を知ろう

リマーケティングとは、ナカダイが提唱する新たなモノの流れのこと。
ナカダイに運ばれたモノたちは、下記５つの流れに沿っていきます。

1. リユース

機能が生きているモノを、また同じ使い方で再利用すること。

一般的に「リサイクルショップ」と呼ばれているお店は、実は「リユースショップ」なのです。

2. モノ:ファクトリー

リユースできないモノを選別・解体し、様々な発想の源「マテリアル」として利用する場所のこと。

マテリアルは、ワークショップやプロダクト、装飾、アート等様々な使い方が出来る。

3. マテリアルリサイクル

単一素材まで選別・解体したモノを再資源化(ペレット化)し、また同じ素材の商品の材料に使用すること。

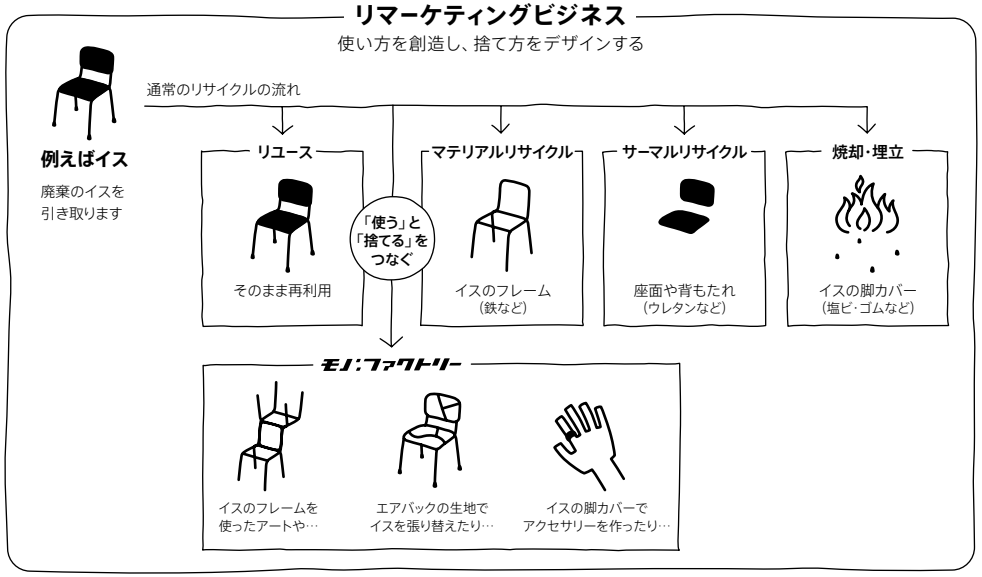
4. サーマルリサイクル

選別･解体した後の再資源化できないモノを集め、熱源利用すること。

例) 再資源化できないモノから燃料を作り、製紙メーカーのボイラー燃料として利用する。

5. 焼却･埋立

マテリアル・サーマルリサイクルが出来ないモノの処分の最終手段。焼却して嵩が減るモノは燃やし、焼却灰を埋立てる。



営業カレンダー：　http://monofactory.nakadai.co.jp/maebashi#ms2_shop_calendar_sec
お申込み：　https://monofactory.nakadai.co.jp/tour-application/index.php

前橋支店／工場

(廃棄物中間処理工場)

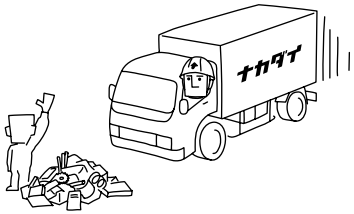
工場へのご来場は、日時のご予約が必要です。
場内には危険な場所もありますので、
ここは工場だということを忘れずにお越しください 。
営業カレンダーをご覧頂き、工場見学のお申し込みページより
ご予約をお願い致します。

作業説明

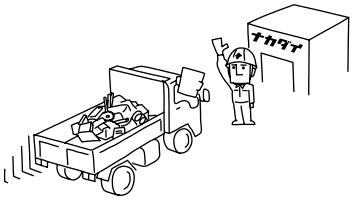
1 *廃棄物の搬入*

ナカダイに搬入する廃棄物は、1日約40t。ペットボトルに換算すると、約8万本分となります。

　プラスチック、金属、木、ガラス、陶器、布・・・固体であればどんなモノでも入ってきます。



ナカダイがトラックで引き取る場合

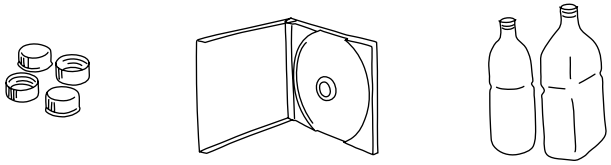


お客様にお持ち込みいただく場合

2 *選別*

リマーケティングの流れに沿って、リユースが出来るか、モノ:ファクトリーのマテリアルとして利用できるか等、廃棄物の選別を行います。

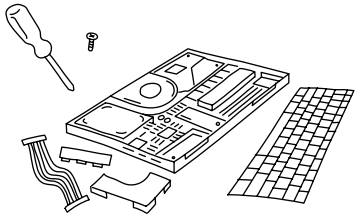
　特に「マテリアルリサイクル」に関する選別は、見た目と手触りで、金属で30種類以上、プラスチックで20種類以上に分類しています。



プラスチックには、実はたくさんの種類があります

3 *解体*

様々な素材が混ざっている什器や機械類は、一つ一つ手で解体を行います。解体後は、それぞれ単一の素材に選別していきます。



パソコンや、大型機械も解体します。

4 *圧縮*

マテリアルリサイクルするビニール袋やペットボトル、鉄などは、トラックで一度にたくさん運べるように、機械でプレス処理を行います。ナカダイには、「プラスチック」と「鉄」をプレスする2種類の機械があります。

5 *溶融*

マテリアルリサイクルする発泡スチロールや発泡材は、トラックで一度にたくさん運べるように、機械で熱をかけて溶融処理を行います。ナカダイには、「ポリスチレン」と「ポリプロピレン」2種類の発泡材を溶融する機械があります。

6 *破砕*

マテリアル･サーマルリサイクルを行う大きなプラスチック製品や木類は、その後の処理（ペレット化、燃料化）のために機械で細かく破砕を行います。ナカダイには、3種類の破砕機があります。

工場でできること

工場見学

廃棄物の中間処理を行っている場内、各作業場を、間近で見学することが出来ます。スタッフの解説のもと、一周約40分程度でご案内します。

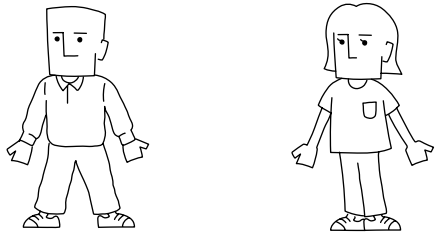
リサイクルはどんな風に行われていくのか、どんな機械があるのか、プラスチックの見分け方等、気になることをどんどん質問してみよう!

お申し込みは、営業カレンダーをご覧頂き、HPの申込フォームからご予約をお願いします。

工場見学にご参加いただくために…

- 安全のため、サンダルやヒールのある靴は避け、スニーカーやかかとの低い靴の着用をお願いします。
- 工場見学中は、必ずヘルメットの着用をお願いしております。ヘルメットは消毒を行っておりますが、気になる方は、ヘルメットの下に被る帽子などをご持参ください。
- 工場見学中の写真撮影は禁止とさせていただきますのでご了承ください。
- 工場見学は、建物外でのご案内が多くなります。夏場は盆地の湿気とコンクリートで40℃近い気温、冬場は上州名物の赤城おろし(強風)と全国美肌ランキング47位(最下位)の乾燥具合を体感することが出来ます。安全のため、過度な肌の露出(半ズボン、スカート等)は控えて頂く必要がありますが、その時期に合った服装でのご参加をお願いします。
- 春は工場の周りの桜と、川沿いの菜の花が満開となりますので、是非お越しください。廃棄物･桜･菜の花が同時に見られる場所は、日本でナカダイだけです。

前橋支店／工場（廃棄物中間処理工場）



工場見学参加の服装（長袖or半袖、長ズボン、スニーカー）

マテリアルライブラリー

モノ：ファクトリー棟の2Fには、「マテリアル」と呼ばれる様々なモノが並んでおり、購入することが出来ます。工作に使う、ワークショップに使う、商品にする、イベントの装飾にする、アート作品にする…使い道は無限です。

マテリアルたちに、第二の人生を見つけてあげてください。

ワークショップ

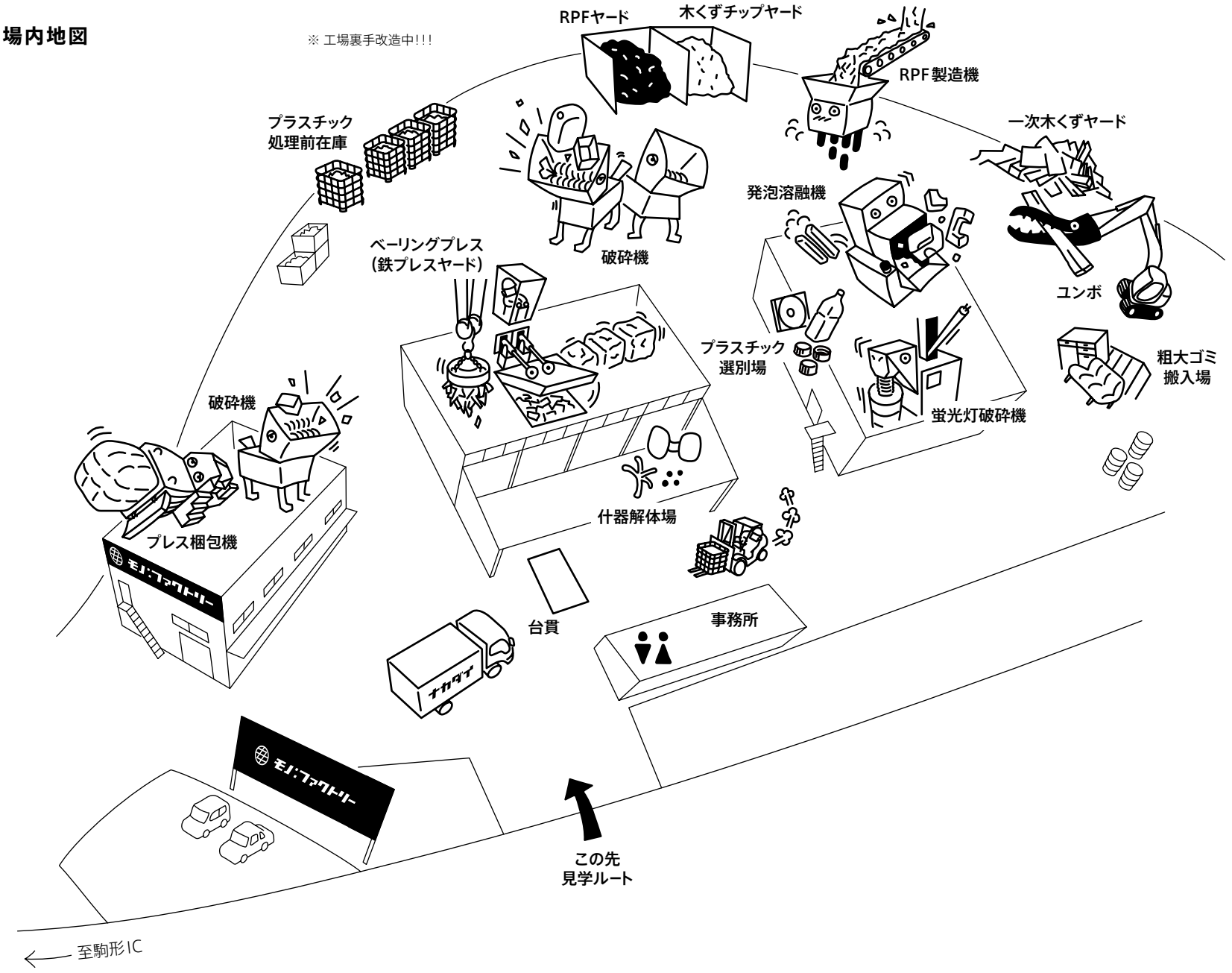
マテリアルを使用した、10種類以上の「つくるワークショップ」、そしてナカダイならではの「こわすワークショップ」を開催しています。

お申し込みは、営業カレンダーをご覧頂き、ご予約をお願いします。

ワークショップにご参加いただくために…

- ワークショップでは、接着剤や油性ペンを使用する場合がありますので、汚れても良い格好でのご参加をお願いします。

場内地図



安全上のご注意

- 場内では、決して走らないでください。転んで怪我をする場合があります。
- 場内は、トラックやフォークリフト等、廃棄物処理に必要な重機類が頻繁に出入り致します。工場内では、大きさ順に通行の優先順位が決められていますので、自分より大きなものが動いていたら立ち止まり、通り過ぎる時を待ってください。特にお子様をお連れの場合は、決して目を離さないようにご注意ください。
- モノ：ファクトリー棟以外の場所では、廃棄物や機械に決して触らないでください。
- 受付事務所、モノ：ファクトリー棟以外の場所は、お客様のみでの立ち入りは禁止となります。立ち入りをご希望の場合は、工場見学をご案内いたしますので、スタッフにお申し付けください。

品川ショールーム

品川ショールームへのご来場は、ご予約制となっております。
お気軽にお問い合わせフォーム、またはお電話でご連絡ください。
安心安全、冷暖房完備です。
営業カレンダーをご確認頂き、お気軽にお越しください。

品川ショールームでできること

マテリアルライブラリー

品川ショールームには、常時150種類程度のマテリアルライブラリーを設置しています。

群馬工場と同じく、全て購入が可能です。

ワークショップ

マテリアルを使用した、10種類以上の「つくるワークショップ」、そしてナカダイならではの「こわすワークショップ」を開催しています。お申し込みは、営業カレンダーをご覧頂き、お電話にてご予約をお願いします。

ワークショップにご参加いただくために…

- ワークショップでは、接着剤や油性ペンを使用する場合がありますので、汚れても良い格好でのご参加をお願いします。

よくある質問

廃棄物の処理に関するご質問

Q. どんなモノでも引き取ってもらえる？

A. 固体であれば、ほぼすべてのモノの引取り·処理が可能です。
まずは一度ご相談ください。

Q. 事務所やホテル、工場の移転・廃業を考えているが、どうすれば良い？

A. ナカダイでは、必要なモノの移動から、廃棄するモノのリユース・リサイクルまで、全てを一括でお引き受けします。まずは一度ご相談ください。

Q. 本当にリユースやリサイクル率は99％なの？

A. 是非工場見学にお申し込み頂き、1時間ほどお時間をください。細かな解体·分別の様子をご説明します。

工場見学、ワークショップに関するご質問

Q. 団体での来場は可能？

A. 工場であれば、体験内容によっては80名様まで受け入れが可能です。詳細はお問い合わせください。

Q. 見学やワークショップに必要なものはある？

A. ヘルメットや軍手、ワークショップに必要な工具類はこちらで準備をいたしますので、特に必要なものはありません。工場見学は、「工場見学にご参加いただくために」の項目をよくお読みいただき、服装にご注意ください。

Q. ワークショップにはどんな種類があるのか？

A. HPの「ワークショップ」のページをご覧ください。また、ワークショップのお申し込みを頂ければ、内容は当日決めて頂く事も可能ですのでご検討ください。

Q. 何歳から参加できる？

A. 工場見学は、何歳からでもご参加いただけます。小さいお子さんは、親御さんあるいはスタッフと手を繋ぎましょう。圧縮や破砕機の近くは大きな音が、また途中階段を上ることがありますのでご了承ください。
　ワークショップは、3歳くらいのお子さんから楽しめるメニューをご用意しております。

Q. モノ:ファクトリーは出張でも開催できるの？

A. 残念ながら工場は動かせませんが、ワークショップ、マテリアルライブラリーは、ご希望に合わせた規模・内容で出張が可能です。詳細はお問い合わせください。

その他

Q.　イベントを開催してほしい

A.　スペースやコンセプトに合わせ、様々なマテリアルを用いて対応することができます。まずは一度ご相談ください。

Q.　マテリアルを大量に使用したい

A.　マテリアルによって、搬入量は100g～20t程度まで様々です。まずは一度ご相談ください。

Q.　マテリアルを継続的に使用したい

A.　排出事業者様は、廃棄物を減らすよう日々努力されておりますので、「継続的」に出てくるモノは基本的にはありません。ただ、量によっては特に問題にならない場合もありますので、まずは一度ご相談ください。